

JIS A 6021 建築用塗膜防水材料

屋根用ウレタンゴム系高伸長形平場用2成分形  
認証取得製品(アーキルフUAエコ、クールタイトUAエコ)



先進の  
防水技術

# SKK 屋上塗膜防水材料シリーズ

SKK WATER PROOFING COATINGS

# SKK 屋上塗膜防水材料シリーズ

当社独自の技術とコンセプトの元に開発されたSKK屋上塗膜防水材料シリーズの各製品は、時代のニーズに対応し、快適な居住空間を創造します。

## 先進の防水技術で、

### SKK WATER PROOFING COATINGS

## 建物を長期間、保護



## Contents

製品概要	2~3
● 防水材	2
● 上塗材	3
工法の概要	4
工法紹介	5~12
● 密着補強工法	5~6
● 密着工法	7
● 立上り工法/トップコート塗り替え	8
● 通気緩衝工法	9~10
● 公共建築工事標準仕様	11~12
下地調整	13
性能試験成績表	14
各部納まり例	15~16
製品一覧	17~18
製品採用実績	19~20
施工上の注意事項	21
使用上の注意	22
維持管理について	22



## 製品概要

## /// 防水材

エスケー化研のウレタン塗膜防水材は、  
環境に配慮した特化則非該当の製品です。

## アーキルフUAエコ、クールタイトUAエコの環境対応について

## ●特化則非該当

従来のウレタン塗膜防水材に含有されていたTDI（トリレンジイソシアネート）の含有量は規定限界以下、MOCA（3,3'-ジクロロ-4,4'-ジアミノジフェニルメタン）は含有していません。そのため、特定化学物質障害予防規則の適用にはならず、現場での取り扱いについても規制が緩和されます。

## ●厚生労働省の指定13物質を配合しない

厚生労働省で室内環境濃度基準の指針として指定された13物質を配合していません。  
※本カタログ製作時における指定物質

## ●トルエン・キシレンフリー

臭気の要因の一つであり、PRTR法の規制対象物質でもある溶剤のトルエン・キシレンを配合していないため、従来品と比較して低臭です。

## ●鉛・クロムフリー

有害な重金属である鉛・クロムを含有していません。

## アーキルフUAエコ

環境

JIS A 6021 建築用塗膜防水材 屋根用ウレタンゴム系高伸長形平場用2成分形

ウレタン塗膜防水材に求められる防水性能を満足するとともに、TDI含有量は規定限界以下、MOCAフリーであり、特定化学物質障害予防規則の対象物質に該当していません。また、上塗りに水性塗料を使用することで、より環境に優しい工法となります。

## 適用上塗材

水性アーキトップU	アーキトップ# 2000
-----------	--------------

## クールタイトUAエコ

環境 遮熱

JIS A 6021 建築用塗膜防水材 屋根用ウレタンゴム系高伸長形平場用2成分形

トルエン・キシレンフリー、鉛・クロムフリー、TDI含有量は規定限界以下、MOCAフリーなど、安心・安全を追求した環境対応型のウレタンゴム系塗膜防水材です。上塗りに、専用の遮熱塗料を使用することで、省エネ・ヒートアイランド対策につながります。

## 適用上塗材

水性クールタイトH I	クールタイトH I
クールタイトH I シリコン	クールタイトH I フッソ

## 上塗材

溶剤系

溶剤系

溶剤系

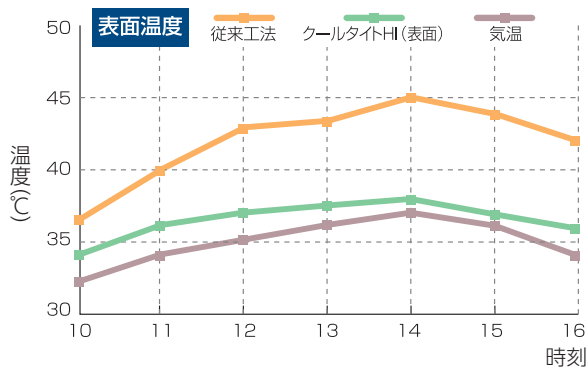
水性

### クールタイトHI / シリコン / フッ素、水性クールタイトHI

遮熱

低汚染機能をプラスした遮熱塗料です。遮熱性能の妨げとなる大気中のカーボン等による汚染を抑制し、長期に亘って遮熱性能を維持することができます。ラインアップとして、高耐久・超低汚染型のポリウレタン樹脂タイプ（クールタイトHI、水性クールタイトHI）と超耐久・超低汚染型のアクリルシリコン樹脂タイプ（クールタイトHIシリコン）、ふっ素樹脂タイプ（クールタイトHIフッ素）があります。

塗膜表面温度（色目：HI-2）



標準色（クールタイトHI / シリコン / フッ素）



標準色（水性クールタイトHI）



※標準色は印刷のため実際の色目と異なります。ご注文の際は、必ず塗板などで色目を確認してください。

溶剤系

### アーキトップ# 2000

ポリウレタン樹脂の耐久性の高い上塗材です。弾力のある塗膜は、耐候性に優れ、高光沢の仕上げを提供します。

水性

### 水性アーキトップU

ポリウレタン樹脂の耐久性の高い上塗材です。水性タイプですので、溶剤中毒や火災の心配が少なく、作業環境の向上に役立ちます。

標準色



※標準色は印刷のため実際の色目と異なります。ご注文の際は、必ず塗板などで色目を確認してください。

6ヶ月後の塗膜表面の汚染状況と遮熱持続性能

●塗膜表面



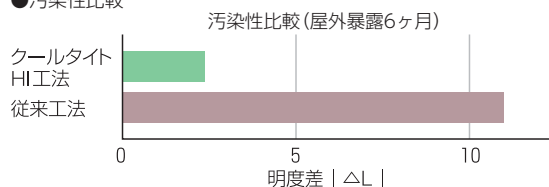
クールタイトHI工法

従来工法

超低汚染機能により塗膜表面の汚れが少なく、遮熱性能を長期間維持することができる。

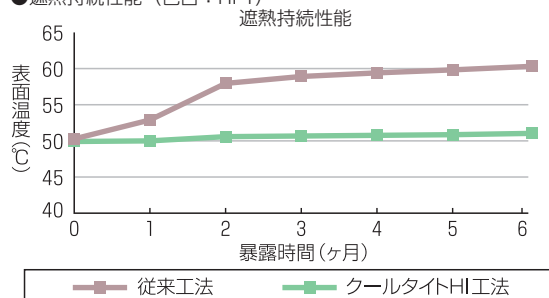
6ヶ月もすれば汚れが堆積し、外観を損ね、室内の温度上昇につながる。

●汚染性比較



※ |ΔL| は、数値が小さい程、汚れが少ないことを表します。

●遮熱持続性能（色目：HI-1）



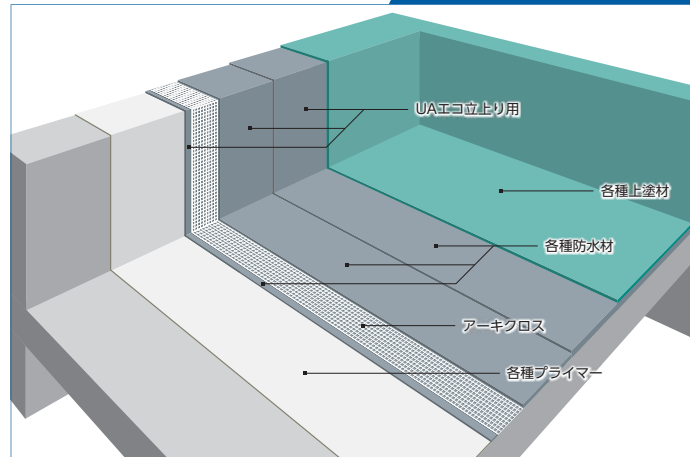
## 工法の概要

### 密着補強工法／密着工法

密着補強工法（SR 工法）は、補強クロス（アーキクロス）を用いることで、均一に必要な膜厚を確保し、下地の経年に亘る劣化の影響を軽減できます。

密着工法（SN 工法）は、シームレスな仕上げを提供する一般的な塗膜防水工法です。ウレタン塗膜防水の改修や RC 造マンション等のベランダ、バルコニーの防水としても使用される工法です。

### SR 工法

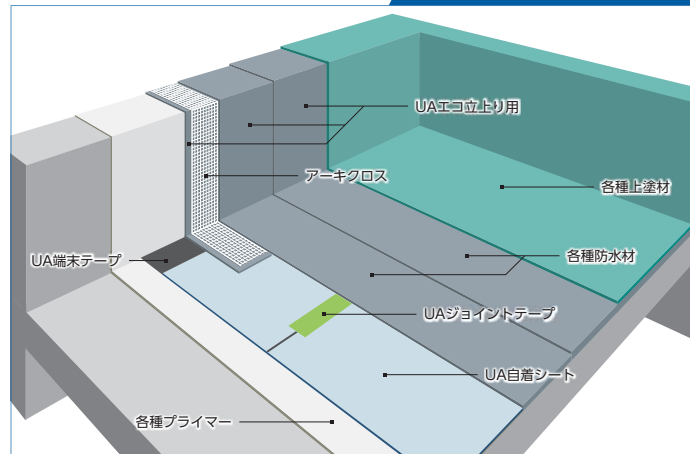


※上塗材、防水材、プライマーの組み合わせは各仕様をご確認ください。

### 通気緩衝工法

通気緩衝工法（SV 工法）は、「公共建築工事標準仕様書（国土交通省）」や「JASS8 防水工事（建築学会）」にも採用されている工法です。コンクリート下地と防水層が通気緩衝シートで遮断されているため、防水層がコンクリートのひび割れの影響を受けず、ひび割れを防止できます。また、通気緩衝シートを通じて水分が放出されるため、防水層の膨れも防止できます。

### SV 工法



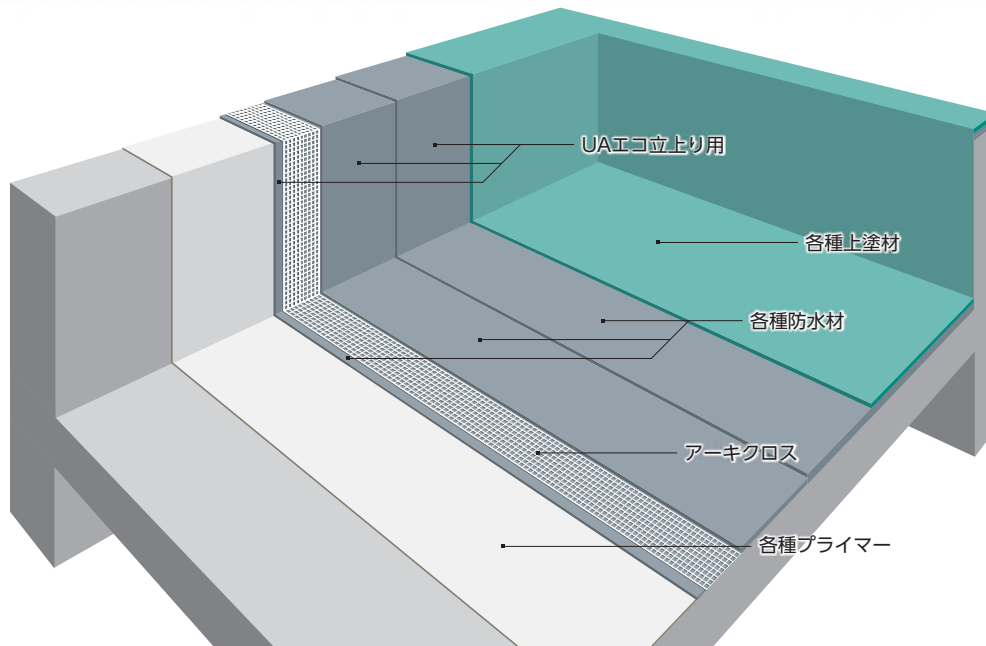
※上塗材、防水材、プライマーの組み合わせは各仕様をご確認ください。

## 工法の種類と表記

# SN – UAE2 – U

工法名	防水材	厚み	上塗材
SN : 密着工法	UAE : アーキルーフ UA エコ	1 : 1mm	U : アーキトップ #2000
SR : 密着補強工法	HIE : クールタイト UA エコ	2 : 2mm	UW : 水性アーキトップ U
SF : 密着補強工法 (ウレタン塗膜防水改修工法)		3 : 3mm	CU : クールタイト HI
SV : 通気緩衝工法 (自着シート)		4 : 4mm	CS : クールタイト HI シリコン
SS : 通気緩衝工法 (塩ビシート防水改修工法)			CF : クールタイト HI フッソ
VT : 立上り工法			CUW : 水性クールタイト HI

# 密着補強工法 (SR 工法 / SF 工法)



下地 ▶▶▶ コンクリート (SR 工法)、ウレタン塗膜防水 (SF 工法)

※上塗材、防水材、プライマーの組み合わせは各仕様をご確認ください。

## 施工手順 (平場 SR 工法 3mm 厚) ※下地調整については、P13 をご参照ください。

注) SR / SF 工法のみ

※  
下地調整

### プライマー塗り



仕様に応じて各種プライマーをローラーまたは刷毛を用いて、 $0.2\text{kg}/\text{m}^2$ を均一に塗付する。

### クロス張り



プライマー乾燥後、防水材を  $0.4\text{kg}/\text{m}^2$  塗付し、アーキクロスを浮き上がったり、しわが入らないように注意して張り付ける。

### 防水材塗り



防水材を主剤、硬化剤を規定の調合比で低速攪拌機を用いて攪拌、混合し  $2.1\text{kg}/\text{m}^2$  を平場にこて等の道具で塗付する。1層目が乾燥後、同様に  $1.7\text{kg}/\text{m}^2$  を塗付する。

### 上塗り



仕上げに応じて、各種上塗材をローラーまたは刷毛を用いて、 $0.2\text{kg}/\text{m}^2$  を均一に塗付する。

## SR 工法

## 密着補強工法

下記仕様はフラット仕上げとなります。その他、専用骨材を使用した防滑仕上げもあります。

SR-UAE3-U (3mm 厚)		汎用
工程	製品名	塗付量
1	アーキプライマー <sup>*1</sup>	0.2kg/m <sup>2</sup>
2	アーキルーフ UA エコ	0.4kg/m <sup>2</sup>
	アーキクロス	-
3	アーキルーフ UA エコ	2.1kg/m <sup>2</sup>
4	アーキルーフ UA エコ	1.7kg/m <sup>2</sup>
5	アーキトップ #2000	0.2kg/m <sup>2</sup>

SR-UAE3-UW (3mm 厚)		環境
工程	製品名	塗付量
1	アーキプライマーエコ <sup>*2</sup>	0.2kg/m <sup>2</sup>
2	アーキルーフ UA エコ	0.4kg/m <sup>2</sup>
	アーキクロス	-
3	アーキルーフ UA エコ	2.1kg/m <sup>2</sup>
4	アーキルーフ UA エコ	1.7kg/m <sup>2</sup>
5	水性アーキトップ U	0.2kg/m <sup>2</sup>

SR-HIE3 (3mm 厚)		遮熱
工程	製品名	塗付量
1	アーキプライマー <sup>*1</sup>	0.2kg/m <sup>2</sup>
2	クールタイト UA エコ	0.4kg/m <sup>2</sup>
	アーキクロス	-
3	クールタイト UA エコ	2.1kg/m <sup>2</sup>
4	クールタイト UA エコ	1.7kg/m <sup>2</sup>
5	各種専用塗材 <sup>*3</sup>	0.2kg/m <sup>2</sup>

SR-HIE3-CUW (3mm 厚)		環境 / 遮熱
工程	製品名	塗付量
1	アーキプライマーエコ <sup>*2</sup>	0.2kg/m <sup>2</sup>
2	クールタイト UA エコ	0.4kg/m <sup>2</sup>
	アーキクロス	-
3	クールタイト UA エコ	2.1kg/m <sup>2</sup>
4	クールタイト UA エコ	1.7kg/m <sup>2</sup>
5	水性クールタイト HI	0.2kg/m <sup>2</sup>

※ 1. この他、アーキプライマーエコもご使用いただけます。

※ 2. この他、水性アーキプライマーエコもご使用いただけます。

※ 3. 上塗材には、クールタイト HI、クールタイト HI シリコン、クールタイト HI フッソがあります。

## SF 工法 (ウレタン塗膜防水改修工法)

## 密着補強工法

下記仕様はフラット仕上げとなります。その他、専用骨材を使用した防滑仕上げもあります。

SF-UAE3-U (3mm 厚)		汎用
工程	製品名	塗付量
1	アーキプライマーエコ	0.1kg/m <sup>2</sup>
2	アーキルーフ UA エコ	0.4kg/m <sup>2</sup>
	アーキクロス	-
3	アーキルーフ UA エコ	2.1kg/m <sup>2</sup>
4	アーキルーフ UA エコ	1.7kg/m <sup>2</sup>
5	アーキトップ #2000	0.2kg/m <sup>2</sup>

SF-UAE3-UW (3mm 厚)		環境
工程	製品名	塗付量
1	アーキプライマーエコ	0.1kg/m <sup>2</sup>
2	アーキルーフ UA エコ	0.4kg/m <sup>2</sup>
	アーキクロス	-
3	アーキルーフ UA エコ	2.1kg/m <sup>2</sup>
4	アーキルーフ UA エコ	1.7kg/m <sup>2</sup>
5	水性アーキトップ U	0.2kg/m <sup>2</sup>

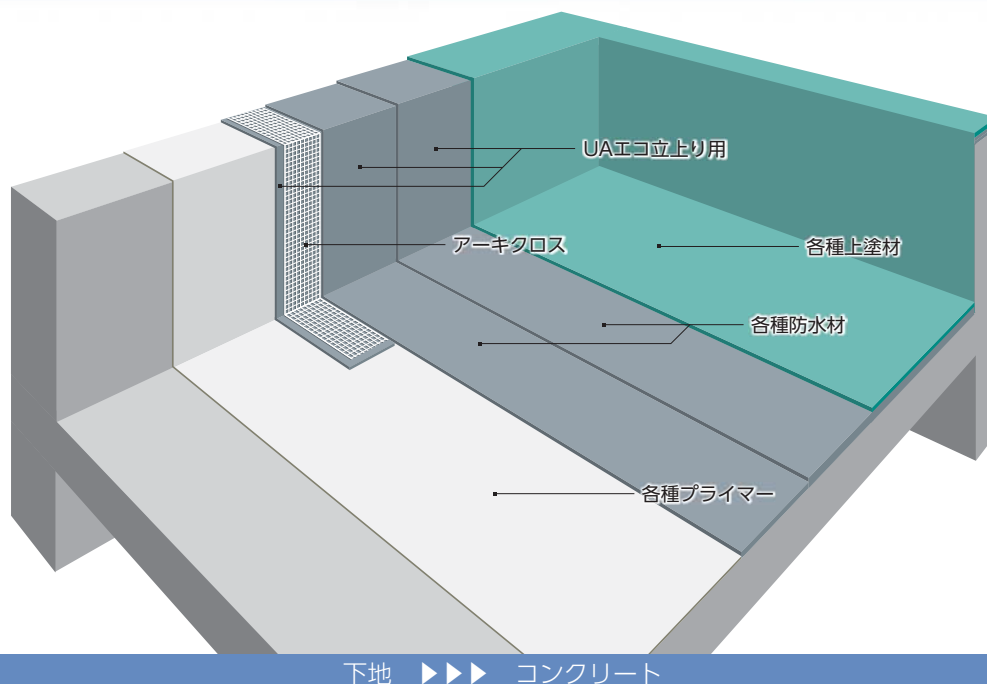
SF-HIE3 (3mm 厚)		遮熱
工程	製品名	塗付量
1	アーキプライマーエコ	0.1kg/m <sup>2</sup>
2	クールタイト UA エコ	0.4kg/m <sup>2</sup>
	アーキクロス	-
3	クールタイト UA エコ	2.1kg/m <sup>2</sup>
4	クールタイト UA エコ	1.7kg/m <sup>2</sup>
5	各種専用塗材 <sup>*</sup>	0.2kg/m <sup>2</sup>

SF-HIE3-CUW (3mm 厚)		環境 / 遮熱
工程	製品名	塗付量
1	アーキプライマーエコ	0.1kg/m <sup>2</sup>
2	クールタイト UA エコ	0.4kg/m <sup>2</sup>
	アーキクロス	-
3	クールタイト UA エコ	2.1kg/m <sup>2</sup>
4	クールタイト UA エコ	1.7kg/m <sup>2</sup>
5	水性クールタイト HI	0.2kg/m <sup>2</sup>

※上塗材には、クールタイト HI、クールタイト HI シリコン、クールタイト HI フッソがあります。

立上り工法 (VT 工法) の仕様については、P8 をご参照ください。

# 密着工法 (SN 工法)



※上塗材、防水材、プライマーの組み合わせは各仕様をご確認ください。

## SN 工法

## 密着工法

下記仕様はフラット仕上げとなります。この他、専用骨材を使用した防漏仕上げもあります。

SN-UAE2-U (2mm 厚)		汎用
工程	製品名	塗付量
1	アーキプライマー <sup>*1</sup>	0.2kg/m <sup>2</sup>
2	アーキルーフ UA エコ	1.4kg/m <sup>2</sup>
3	アーキルーフ UA エコ	1.4kg/m <sup>2</sup>
4	アーキトップ #2000	0.2kg/m <sup>2</sup>

SN-UAE2-UW (2mm 厚)		環境
工程	製品名	塗付量
1	アーキプライマーエコ <sup>*2</sup>	0.2kg/m <sup>2</sup>
2	アーキルーフ UA エコ	1.4kg/m <sup>2</sup>
3	アーキルーフ UA エコ	1.4kg/m <sup>2</sup>
4	水性アーキトップ U	0.2kg/m <sup>2</sup>

SN-HIE2 (2mm 厚)		遮熱
工程	製品名	塗付量
1	アーキプライマー <sup>*1</sup>	0.2kg/m <sup>2</sup>
2	クールタイト UA エコ	1.4kg/m <sup>2</sup>
3	クールタイト UA エコ	1.4kg/m <sup>2</sup>
4	各種専用上塗材 <sup>*3</sup>	0.2kg/m <sup>2</sup>

SN-HIE2-CUW (2mm 厚)		環境	遮熱
工程	製品名	塗付量	
1	アーキプライマーエコ <sup>*2</sup>	0.2kg/m <sup>2</sup>	
2	クールタイト UA エコ	1.4kg/m <sup>2</sup>	
3	クールタイト UA エコ	1.4kg/m <sup>2</sup>	
4	水性クールタイト HI	0.2kg/m <sup>2</sup>	

※ 1. この他、アーキプライマーエコもご使用いただけます。

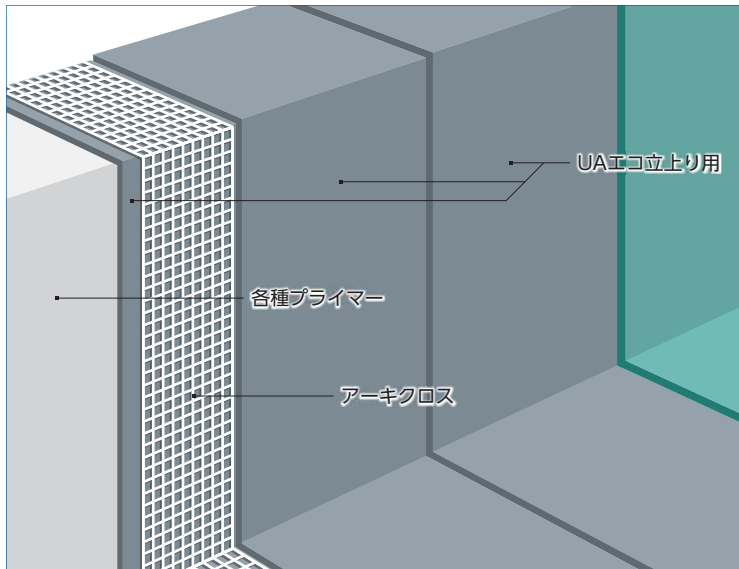
※ 2. この他、水性アーキプライマーエボもご使用いただけます。

※ 3. 上塗材には、クールタイト HI、クールタイト HI シリコン、クールタイト HI フッソがあります。

立上り工法 (VT 工法) の仕様については、P8 をご参照ください。



## 立上り工法 (VT工法)



※上塗材、プライマーの組み合わせは各仕様をご確認ください。

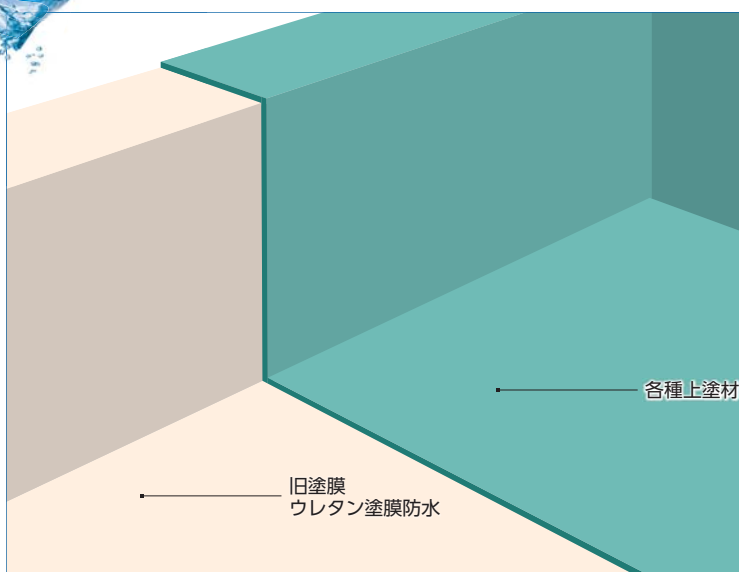
工程	製品名	塗付量
1	各種プライマー	0.2kg/m <sup>2</sup>
2	UAエコ立上り用	0.4kg/m <sup>2</sup>
	アーキクロス	-
3	UAエコ立上り用	1.2kg/m <sup>2</sup>
4	UAエコ立上り用	1.0kg/m <sup>2</sup>
5	各種上塗材	0.2kg/m <sup>2</sup>

UAエコ立上り用の代わりに各防水材にアーキミックスを添加することで立上り部にも使用可能です。

■アーキミックス (目止め材) の添加量

製品名	アーキルーフ UA エコ	クールタイト UA エコ
荷姿	18kg セット	18kg セット
アーキミックス	1.0kg	1.0kg

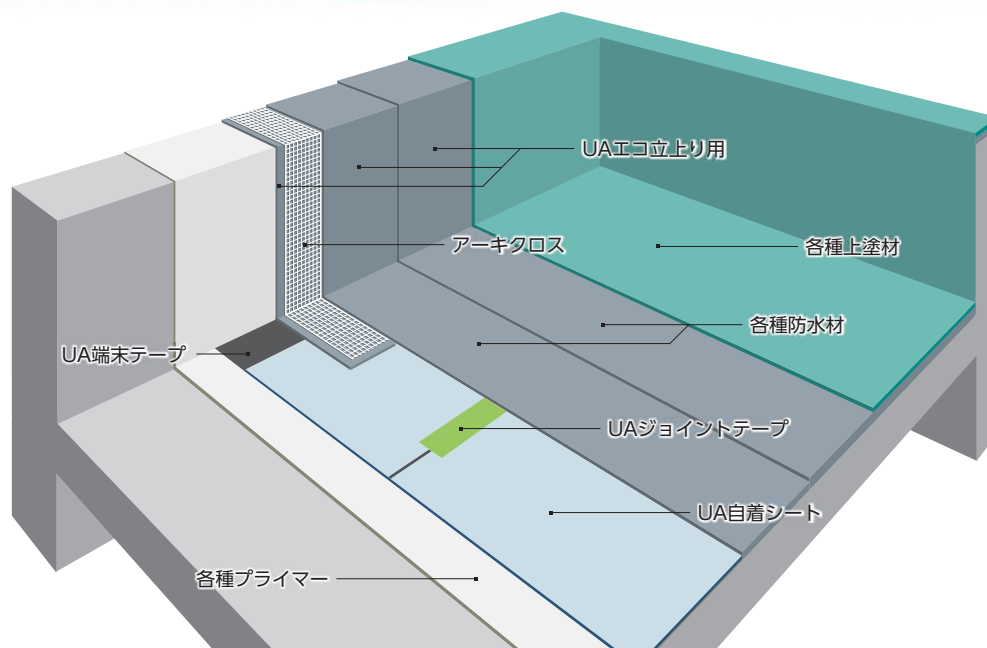
## トップコート塗り替え



ウレタン塗膜防水材の劣化した上塗材を耐久性に優れた製品に塗り替えることで、防水材の劣化を防止します。

工程	製品名	塗付量
1	各種上塗材	0.2kg/m <sup>2</sup>

# 通気緩衝工法 (SV 工法 / SS 工法)



下地 ▶▶▶ コンクリート押え (SV 工法)、塩ビシート防水 (SS 工法)

※上塗材、防水材、プライマーの組み合わせは各仕様をご確認ください。

## 施工手順 (平場 SV 工法 3mm 厚) ※下地調整については、P13 をご参照ください。

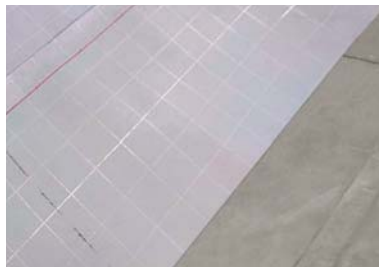
※下地調整

### プライマー塗り



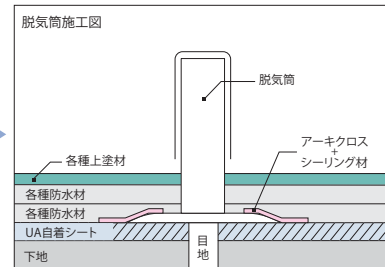
仕様にに応じて各種プライマーをローラーまたは刷毛を用いて、0.2kg/m<sup>2</sup>を均一に塗付する。

### 通気緩衝シート張り



UA 自着シートを青線が下、赤線が上になるように張り付ける。シートは立上り部分、パラペット、役物等から 30 ~ 50mm 程度離して張り付ける。UA 自着シートを青線が下、赤線が上になるように張り付けた後、転圧ローラーを用いて十分な荷重で全面を均一に転圧する。

### 脱気装置取付



脱気装置を所定の位置の 50 ~ 100ml に対して 1 箇所以上の割合で取り付ける。

### ジョイント処理及び端末処理



UA 自着シートのジョイント部には UA ジョイントテープを張り付ける。UA 自着シートの端末部には、UA 端末テープを張り付ける。

### 防水材塗り



防水材を主剤、硬化剤を規定の調合比で低速攪拌機を用いて攪拌、混合し 2.1kg/m<sup>2</sup>を平場にこて等の施工器具を用いて塗付する。1層目が乾燥後、同様に 2.1kg/m<sup>2</sup>を塗付する。

### 上塗り



仕上げに応じて、各種上塗材をローラーまたは刷毛を用いて、0.2kg/m<sup>2</sup>を均一に塗付する。

## SV 工法

## 通気緩衝工法

下記仕様はフラット仕上げとなります。この他、専用骨材を使用した防滑仕上げもあります。

SV-UAE3-U (3mm 厚)		汎用
工程	製品名	塗付量
1	アーキプライマー* <sup>1</sup>	0.2kg/m <sup>2</sup>
	UA 自着シート	—
2	アーキルーフ UA エコ	2.1kg/m <sup>2</sup>
3	アーキルーフ UA エコ	2.1kg/m <sup>2</sup>
4	アーキトップ #2000	0.2kg/m <sup>2</sup>

SV-UAE3-UW (3mm 厚)		環境
工程	製品名	塗付量
1	アーキプライマーエコ	0.2kg/m <sup>2</sup>
	UA 自着シート	—
2	アーキルーフ UA エコ	2.1kg/m <sup>2</sup>
3	アーキルーフ UA エコ	2.1kg/m <sup>2</sup>
4	水性アーキトップ U	0.2kg/m <sup>2</sup>

SV-HIE3 (3mm 厚)		遮熱
工程	製品名	塗付量
1	アーキプライマー* <sup>1</sup>	0.2kg/m <sup>2</sup>
	UA 自着シート	—
2	クールタイト UA エコ	2.1kg/m <sup>2</sup>
3	クールタイト UA エコ	2.1kg/m <sup>2</sup>
4	各種専用塗材* <sup>2</sup>	0.2kg/m <sup>2</sup>

SV-HIE3-CUW (3mm 厚)		環境	遮熱
工程	製品名	塗付量	
1	アーキプライマーエコ	0.2kg/m <sup>2</sup>	
	UA 自着シート	—	
2	クールタイト UA エコ	2.1kg/m <sup>2</sup>	
3	クールタイト UA エコ	2.1kg/m <sup>2</sup>	
4	水性クールタイト HI	0.2kg/m <sup>2</sup>	

※ 1. この他、アーキプライマーエコもご使用いただけます。

※ 2. 上塗材には、クールタイト HI、クールタイト HI シリコン、クールタイト HI フッソがあります。

## SS 工法（塩ビシート防水改修工法）

## 通気緩衝工法

下記仕様はフラット仕上げとなります。この他、専用骨材を使用した防滑仕上げもあります。

SS-UAE3 (3mm 厚)		汎用
工程	製品名	塗付量
1	アーキプライマーエコ	0.1kg/m <sup>2</sup>
	UA 自着シート	—
2	アーキルーフ UA エコ	2.1kg/m <sup>2</sup>
3	アーキルーフ UA エコ	2.1kg/m <sup>2</sup>
4	アーキトップ #2000	0.2kg/m <sup>2</sup>

SS-UAE3 (3mm 厚)		環境
工程	製品名	塗付量
1	アーキプライマーエコ	0.1kg/m <sup>2</sup>
	UA 自着シート	—
2	アーキルーフ UA エコ	2.1kg/m <sup>2</sup>
3	アーキルーフ UA エコ	2.1kg/m <sup>2</sup>
4	水性アーキトップ U	0.2kg/m <sup>2</sup>

SS-HIE3 (3mm 厚)		遮熱
工程	製品名	塗付量
1	アーキプライマーエコ	0.1kg/m <sup>2</sup>
	UA 自着シート	—
2	クールタイト UA エコ	2.1kg/m <sup>2</sup>
3	クールタイト UA エコ	2.1kg/m <sup>2</sup>
4	各種専用塗材*	0.2kg/m <sup>2</sup>

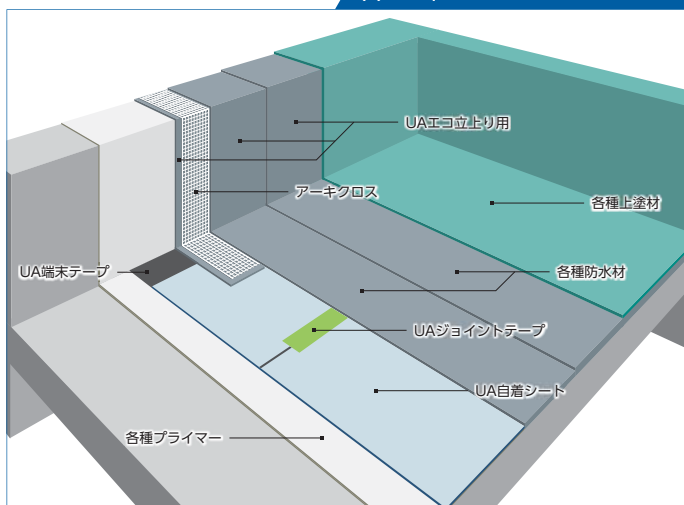
SS-HIE3 (3mm 厚)		環境	遮熱
工程	製品名	塗付量	
1	アーキプライマーエコ	0.1kg/m <sup>2</sup>	
	UA 自着シート	—	
2	クールタイト UA エコ	2.1kg/m <sup>2</sup>	
3	クールタイト UA エコ	2.1kg/m <sup>2</sup>	
4	水性クールタイト HI	0.2kg/m <sup>2</sup>	

※上塗材には、クールタイト HI、クールタイト HI シリコン、クールタイト HI フッソがあります。

立上り工法（VT 工法）の仕様については、P8 をご参照ください。

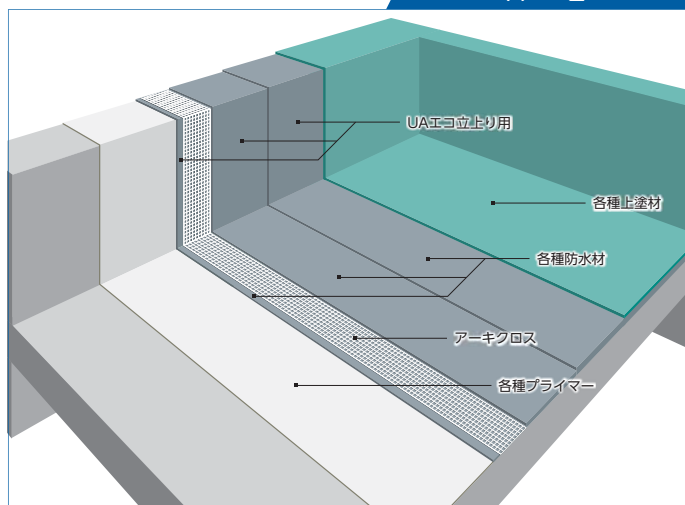
# 公共建築工事標準仕様

X-1 (立上り部はX-2を適用)



※上塗材、防水材、プライマーの組み合わせは各仕様をご確認ください。

X-2



※上塗材、防水材、プライマーの組み合わせは各仕様をご確認ください。

## 公共建築工事標準仕様書該当仕様

### 9章防水工事 ウレタンゴム系塗膜防水の種類及び工程

種別 工程	X-1		X-2	
	材料・工法	使用量 (kg/m <sup>2</sup> )	材料・工法	使用量 (kg/m <sup>2</sup> )
1	接着剤塗り・通気緩衝シート張り (注) 5	0.3	プライマー塗り	0.2
2	ウレタンゴム系塗膜防水材塗り	3.0 (注) 1 (注) 4	ウレタンゴム系塗膜防水材塗り、補強布張り	0.3 (注) 1
3	ウレタンゴム系塗膜防水材塗り		ウレタンゴム系塗膜防水材塗り	2.7 (注) 1
4	仕上塗料塗り	0.2	ウレタンゴム系塗膜防水材塗り	(1.7) (注) 2 (注) 4
5	-	-	仕上塗料塗り	0.2

(注) 1. 表中のウレタンゴム系防水材塗りの使用量は、硬化物密度が 1.0Mg/m<sup>2</sup>である材料の場合を示しており、硬化物密度がこれ以外の場合にあっては、所要塗膜厚を確保するように使用量を換算します。換算した値が「アーキルーフ UA エコ」「クールタイト UA エコ」「UA エコ立上り用」の使用量となります。

2. 立上り部はすべて、種別 X-2 とし、工程 3 及び工程 4 を ( ) 内とします。

3. ウレタンゴム系塗膜防水材塗りについては、1 工程あたりの使用量を、硬化物密度が 1.0Mg/m<sup>2</sup>である材料の場合、平場は 2.0kg/m<sup>2</sup>、立上りは 1.2kg/m<sup>2</sup>を上限として変更することができます。

4. ウレタンゴム系防水材塗りは 2 回以上に分割して塗り付けます。

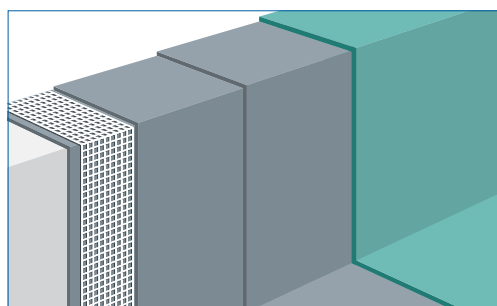
5. 接着剤以外による通気緩衝シートの張り付け方法は、主材料製造所の仕様によります。

## 類似仕様

仕様名	通気・緩衝工法	密着・補強工法	立上り
公共建築工事標準仕様書	X-1	X-2	X-1 立上り、X-2 立上り
公共建築改修工事標準仕様書	POX	L4X	POX、L4X
建築工事標準仕様書 (JASS 8)	L-US	L-UF	L-US、L-UF

## X-1, X-2 立上り

## 密着補強工法



工程	製品名	塗付量
1	各種プライマー	0.2kg/m <sup>2</sup>
2	UA エコ立上り用	0.4kg/m <sup>2</sup>
	アーキクロス	-
3	UA エコ立上り用	1.2kg/m <sup>2</sup>
4	UA エコ立上り用	1.0kg/m <sup>2</sup>
5	各種上塗材	0.2kg/m <sup>2</sup>

## X-1

## 通気緩衝工法

		汎用
工程	製品名	塗付量
1	アーキプライマー <sup>*1</sup>	0.2kg/m <sup>2</sup>
	UA 自着シート	—
2	アーキルーフ UA エコ	2.1kg/m <sup>2</sup>
3	アーキルーフ UA エコ	2.1kg/m <sup>2</sup>
4	アーキトップ #2000	0.2kg/m <sup>2</sup>

		環境
工程	製品名	塗付量
1	アーキプライマーエコ	0.2kg/m <sup>2</sup>
	UA 自着シート	—
2	アーキルーフ UA エコ	2.1kg/m <sup>2</sup>
3	アーキルーフ UA エコ	2.1kg/m <sup>2</sup>
4	水性アーキトップ U	0.2kg/m <sup>2</sup>

		遮熱
工程	製品名	塗付量
1	アーキプライマー <sup>*1</sup>	0.2kg/m <sup>2</sup>
	UA 自着シート	—
2	クールタイト UA エコ	2.1kg/m <sup>2</sup>
3	クールタイト UA エコ	2.1kg/m <sup>2</sup>
4	各種専用塗材 <sup>*2</sup>	0.2kg/m <sup>2</sup>

		環境	遮熱
工程	製品名	塗付量	
1	アーキプライマーエコ	0.2kg/m <sup>2</sup>	
	UA 自着シート	—	
2	クールタイト UA エコ	2.1kg/m <sup>2</sup>	
3	クールタイト UA エコ	2.1kg/m <sup>2</sup>	
4	水性クールタイト HI	0.2kg/m <sup>2</sup>	

※ 1. この他、アーキプライマーエコもご使用いただけます。

※ 2. 上塗材には、クールタイト HI、クールタイト HI シリコン、クールタイト HI フッソがあります。

## X-2

## 密着補強工法

		汎用
工程	製品名	塗付量
1	アーキプライマー <sup>*1</sup>	0.2kg/m <sup>2</sup>
2	アーキルーフ UA エコ	0.4kg/m <sup>2</sup>
	アーキクロス	—
3	アーキルーフ UA エコ	2.1kg/m <sup>2</sup>
4	アーキルーフ UA エコ	1.7kg/m <sup>2</sup>
5	アーキトップ #2000	0.2kg/m <sup>2</sup>

		環境
工程	製品名	塗付量
1	アーキプライマーエコ <sup>*2</sup>	0.2kg/m <sup>2</sup>
2	アーキルーフ UA エコ	0.4kg/m <sup>2</sup>
	アーキクロス	—
3	アーキルーフ UA エコ	2.1kg/m <sup>2</sup>
4	アーキルーフ UA エコ	1.7kg/m <sup>2</sup>
5	水性アーキトップ U	0.2kg/m <sup>2</sup>

		遮熱
工程	製品名	塗付量
1	アーキプライマー <sup>*1</sup>	0.2kg/m <sup>2</sup>
2	クールタイト UA エコ	0.4kg/m <sup>2</sup>
	アーキクロス	—
3	クールタイト UA エコ	2.1kg/m <sup>2</sup>
4	クールタイト UA エコ	1.7kg/m <sup>2</sup>
5	各種専用塗材 <sup>*3</sup>	0.2kg/m <sup>2</sup>

		環境	遮熱
工程	製品名	塗付量	
1	アーキプライマーエコ <sup>*2</sup>	0.2kg/m <sup>2</sup>	
2	クールタイト UA エコ	0.4kg/m <sup>2</sup>	
	アーキクロス	—	
3	クールタイト UA エコ	2.1kg/m <sup>2</sup>	
4	クールタイト UA エコ	1.7kg/m <sup>2</sup>	
5	水性クールタイト HI	0.2kg/m <sup>2</sup>	

※ 1. この他、アーキプライマーエコもご使用いただけます。

※ 2. この他、水性アーキプライマーエボもご使用いただけます。

※ 3. 上塗材には、クールタイト HI、クールタイト HI シリコン、クールタイト HI フッソがあります。

# 下地調整

## ■新規下地

- ① 突起物はディスクサンダーで削り、平滑にしてください。
- ② 段差などの大きな不陸部分は、全体の水勾配を考慮した上で、SKウェットフィラーを用いて補修し、表面を平滑にしてください。
- ③ 巣穴、ピンホール等の平滑仕上げには、SKウェットフィラーをしごき塗りしてください。
- ④ 伸縮目地には、必ずパッカー（バックアップ材）を入れ、SKシーラントU（一成分形非汚染型ポリウレタン系シーリング材）を打設し、所定の補強用クロス（アーキクロス）で補強張りを行ってください。
- ⑤ 防水工事の指定勾配は1/50～1/20としてください。
- ⑥ 出隅部は通りよく、面取りとしてください。
- ⑦ 入隅部は通りよく、直角としてください。

## ■改修下地

改修下地の場合、下地の状況により施工仕様が異なりますので、最寄りの各営業所へお問い合わせください。

- ① 下地の付着物、突起物は、ディスクサンダー等で完全に除去してください。
- ② 下地表面の油分は、SKクリーナースーパーを用い、デッキブラシなどで油分を除去してください。また、染み込んだ油分は削り取り、ミラクファンドKC-1000またはミラクファンドKC-2000などで平滑に修復してください。
- ③ 段差などの大きな不陸部は、全体の水勾配を考慮した上で、SKウェットフィラーを用いて補修し、表面を平滑にしてください。
- ④ 浮き部は次のように処理してください。
  - 浮きが著しい場合  
浮いている部分を、はつれるだけはつり、その後、SKウェットフィラーで修復してください。
  - 浮きが小さい場合  
ドリルで注入孔を開け、その後、指定のエポキシ樹脂系注入材を注入してください。
- ⑤ ひび割れ部は電動カッター等を用い、U字型にカットし、その後、SKシーラントUを打設し、ヘラで十分に押さえて平滑にしてください。詳細については、納まり図を参照してください。
- ⑥ 伸縮目地の既存目地材は、すべて撤去した後、SKシーラントUを用いて打ち替えてください。
- ⑦ ルーフドレンや貫通パイプなどの金物まわりは、溶剤やワイヤーブラシなどを用いて、さびやタール油脂類などの付着物を除去し、その後、アーキプライマーを塗付してください（塩ビパイプなども同様です）。
- ⑧ 鉄部のさび部は、ディスクサンダー、ワイヤーブラシなどで完全に除去した後、さび止め塗料を塗付してください。なお、さび止め塗料の選定は塗装仕様により異なりますので、最寄りの各営業所へお問い合わせください。
- ⑨ 既設防水層の下地処理については、次の表のように処理してください。



## 既存防水材別処理方法

防水材の種類	処理方法
ウレタン塗膜防水材	防水層の種類により密着不良を起こす恐れがありますので、予め指定のプライマーで密着性を確認してください。 <b>■既存塗膜が下地と密着不良の場合</b> 密着不良部をカッター、サンダーで除去し、ミラクファンドKC-1000またはミラクファンドKC-2000などで平滑に修復してください。 <b>■既存塗膜が下地と密着している場合</b> 高圧水洗（5～15MPa（50～150kgf/cm <sup>2</sup> ））で、既設防水層表面に付着している塵やほこり、汚れなどを除去してください。
塗膜防水材 ポリエステル樹脂（FRP）系防水材	防水層の種類により密着不良を起こす恐れがありますので、予め指定のプライマーで密着性を確認してください。 <b>■既存塗膜が下地と密着不良の場合</b> 密着不良部をカッター、サンダーで除去し、ミラクファンドKC-1000またはミラクファンドKC-2000などで平滑に修復してください。 <b>■既存塗膜が下地と密着している場合</b> 高圧水洗（5～15MPa（50～150kgf/cm <sup>2</sup> ））で、既設防水層表面に付着している塵やほこり、汚れなどを除去し、FRP上を研磨してください。
ポリマーセメント系防水材	小面積の庇など、非歩行部位を除く既設防水層は全面撤去し、ミラクファンドKC-1000またはミラクファンドKC-2000などで平滑に修復してください。
砂付きアスファルト防水材	旧防水材を全面除去の上、アスファルトコンパウンドをできるだけ除去し、ミラクファンドKC-1000またはミラクファンドKC-2000などで平滑に修復してください。
シート防水材（加硫ゴム）	旧防水材を全面除去の上、ミラクファンドKC-1000またはミラクファンドKC-2000などで平滑に修復してください。
シート防水材（塩ビ）	防水層の種類により密着不良を起こす恐れがありますので、予め指定のプライマーで密着性を確認してください。 <b>■既存塗膜が下地と密着不良の場合</b> 密着不良部をカッター、サンダーで除去し、ミラクファンドKC-1000またはミラクファンドKC-2000などで平滑に修復してください。 <b>■既存塗膜が下地と密着している場合</b> 高圧水洗（5～15MPa（50～150kgf/cm <sup>2</sup> ））で、既設防水層表面に付着している塵やほこり、汚れなどを除去してください。

## 性能試験成績表

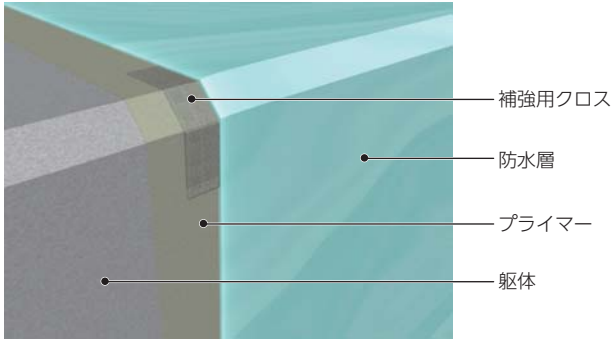
JIS A6021 建築用塗膜防水材 屋根用ウレタンゴム系高伸長形平場用 2 成分形による物性結果

項目		結果		性能	
		アーキルフ UA エコ	クールタイト UA エコ		
引張性能	引張強さ (N/mm <sup>2</sup> )	試験時温度 23℃	3.0	3.1	2.3 以上
		試験時温度 -20℃	4.1	3.9	2.3 以上
		試験時温度 60℃	2.1	2.2	1.4 以上
	破断時の伸び率 (%)	試験時温度 23℃	692	705	450 以上
	抗張積 (N/mm)	試験時温度 23℃	414	434	280 以上
	破断時のつかみ間の伸び率 (%)	試験時温度 23℃	450	450	300 以上
		試験時温度 -20℃	362	350	250 以上
		試験時温度 60℃	273	288	200 以上
	引裂性能	引裂強さ (N/mm)	15	15	14 以上
加熱伸縮性能	伸縮率 (%)	-0.2	-0.2	-4.0 以上 1.0 以下	
劣化処理後の引張性能	引張強さ比 (%)	加熱処理	102	105	80 以上
		促進暴露処理	98	96	60 以上
		アルカリ処理	100	98	60 以上
	破断時の伸び率 (%)	加熱処理	101	102	80 以上
		促進暴露処理	753	750	400 以上
		アルカリ処理	750	725	400 以上
	伸び時の劣化性状	加熱処理	775	775	400 以上
		促進暴露処理	750	745	400 以上
		オゾン処理	750	745	400 以上
固形分 (%)	加熱処理	合格	合格	いずれの試験片にもひび割れ及び著しい変形があつてはならない。	
	促進暴露処理	合格	合格		
	オゾン処理	合格	合格		
硬化物比重		合格	合格	表示値± 3.0	
		合格	合格	表示値± 0.1	

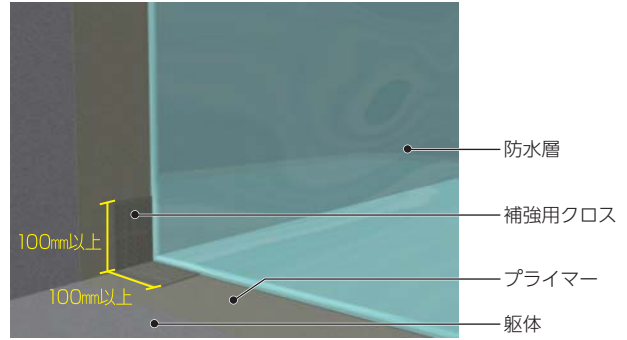


# 各部納まり例

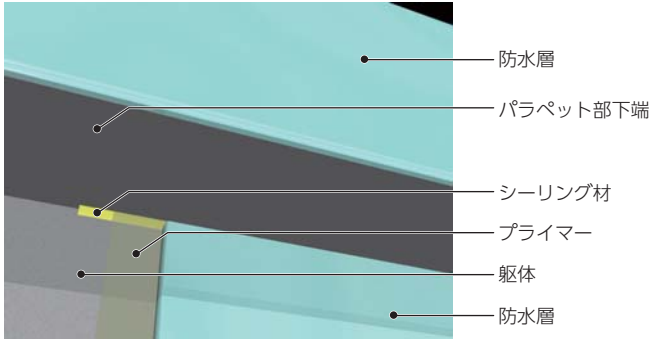
## ■出隅



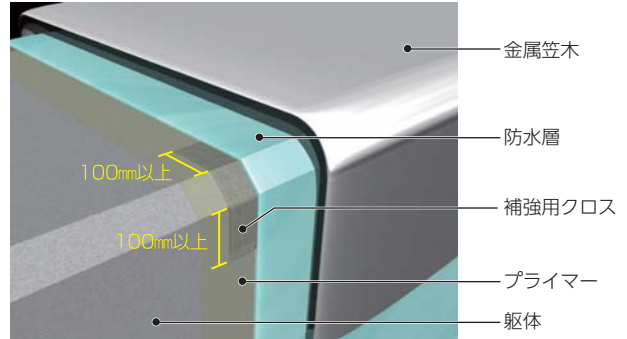
## ■入隅



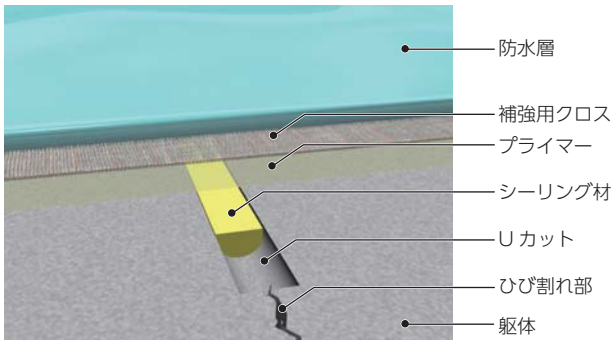
## ■パラペット



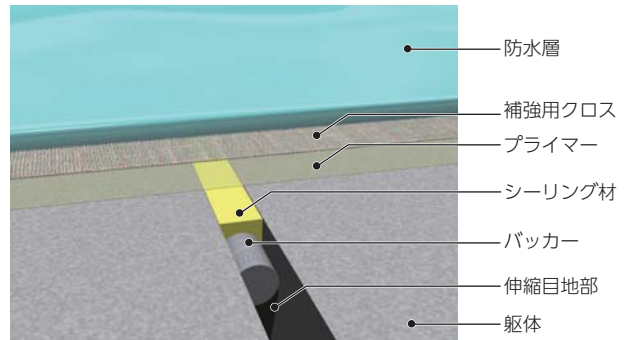
## ■金属笠木



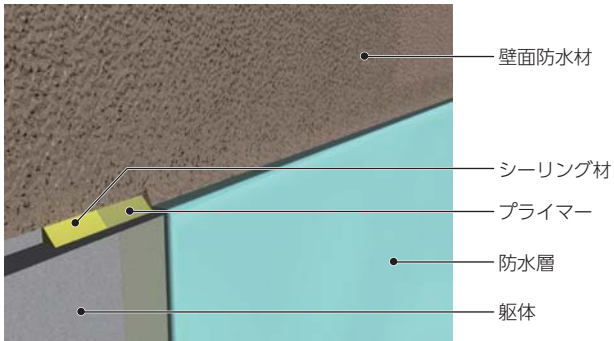
## ■ひび割れ部



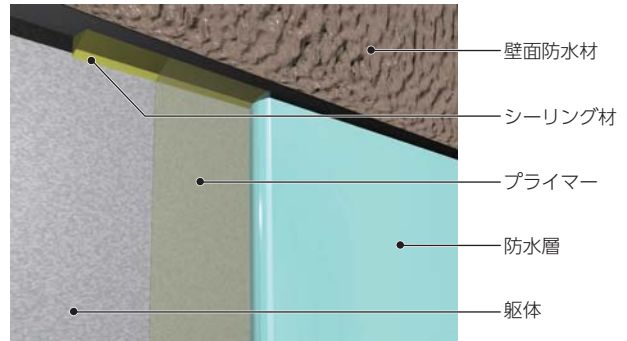
## ■伸縮目地



## ■出幅木

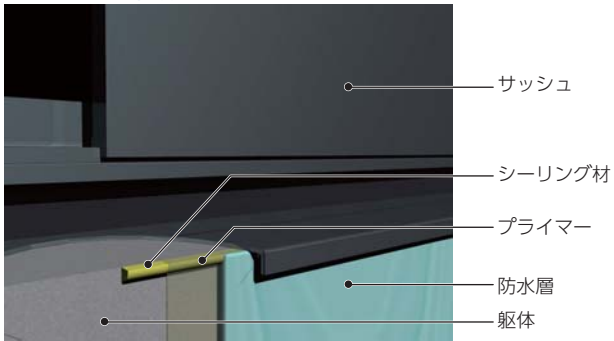


## ■入幅木

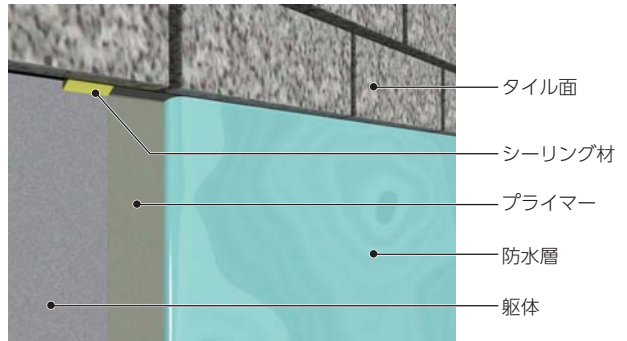




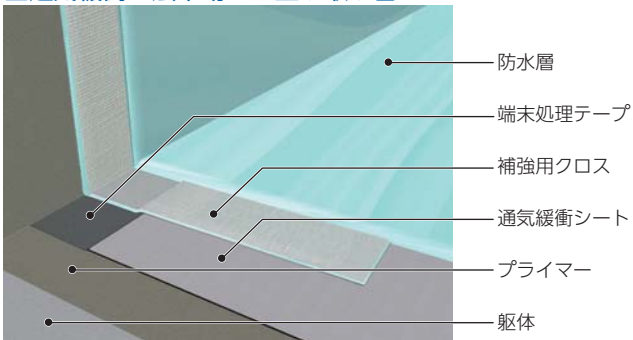
■ サッシュ下端



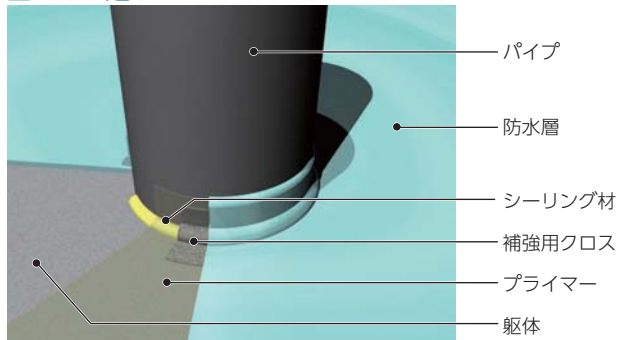
■ 壁面取り合い



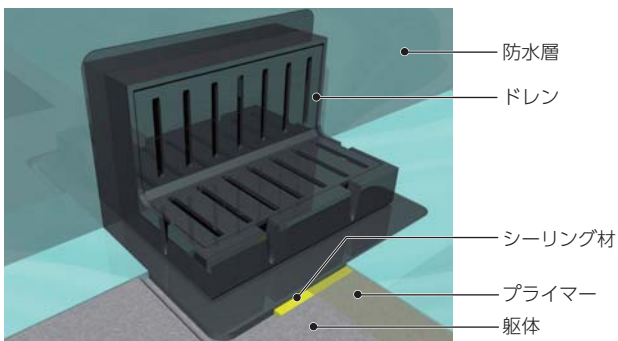
■ 通気緩衝工法平場と立上り取り合い



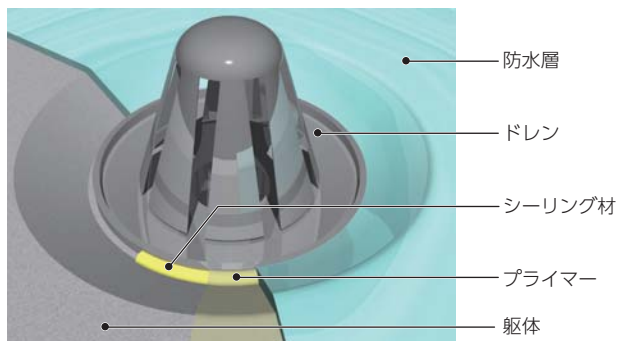
■ パイプ廻り



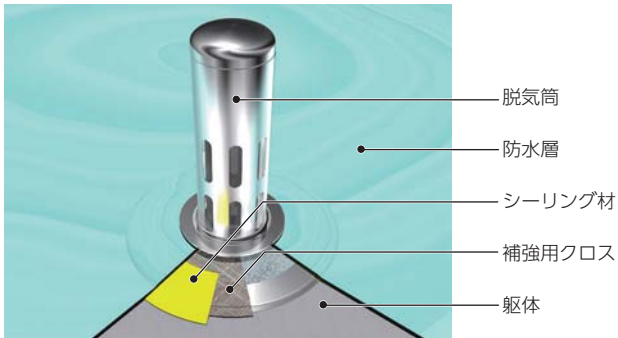
■ 横引きドレン



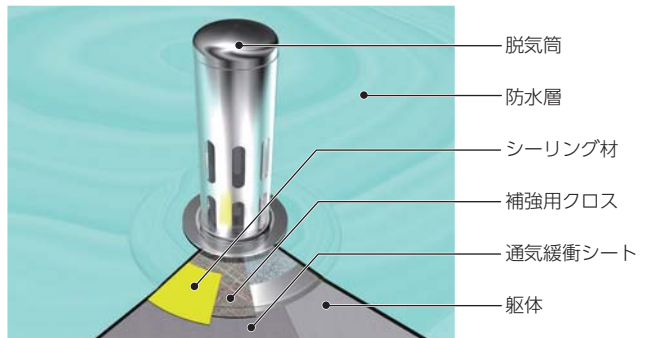
■ 縦引きドレン



■ 脱気筒



■ 脱気筒 (通気緩衝工法)



# 製品一覧

## ウレタン防水材料

製品名	荷姿	硬化物密度 (Mg/m <sup>3</sup> )	備考
★アーキルーフ UA エコ	18kg セット (主剤：6kg、硬化剤：12kg)	1.4 ± 0.1	環境対応型
★クールタイト UA エコ	18kg セット (主剤：6kg、硬化剤：12kg)	1.4 ± 0.1	環境対応遮熱型
★UA エコ立上り用	18kg セット (主剤：6kg、硬化剤：12kg)	1.3 ± 0.1	立上り用

ウレタン防水材料は原則として、無希釈です。やむを得ず粘度調整を行う際は、アーキルーフUAエコ/クールタイトUAエコの場合はアーキエコシンナーにて主剤、硬化剤混合時の5%を上限に希釈を行ってください。規定量以上の希釈を行いますと、硬化不良や仕上がりが不良の原因となります。

また、硬化を促進させる場合は、UA促進剤をご使用ください。なお、添加量の上限は施工気温により異なります。詳細は下記の表をご参照ください。

### ● UA 促進剤 (硬化促進剤) の添加量の上限

製品名	施工温度	18kg / セット当り添加量の上限
アーキルーフ UA エコ クールタイト UA エコ	5 ~ 15℃	180g (1%)
	15 ~ 25℃	90g (0.5%)
	25℃以上	—

※UA促進剤の上限の添加量は、施工16時間後に歩行可能となる目安です。

※UA促進剤の添加量は予め試験塗りをを行い、添加量の上限以内で決定してください。

※予め工程間隔時間が2日以上空くことがわかっている場合は、UA促進剤の添加は不要です。

## 上塗材

製品名	区分	塗料系	荷姿	希釈率 (主剤に対して)
★アーキトップ #2000	溶剤形	ポリウレタン樹脂	15kg セット (主剤：12kg、硬化剤：3kg) 5kg セット (主剤：4kg、硬化剤：1kg)	30 ~ 70% (アーキUシンナー)
★クールタイト HI	溶剤形	ポリウレタン樹脂	15kg セット (主剤：12kg、硬化剤：3kg)	30 ~ 70% (クールタイト HI シンナー)
★クールタイト HI シリコン	溶剤形	アクリルシリコン樹脂	15kg セット (主剤：12kg、硬化剤：3kg)	30 ~ 70% (クールタイト HI シンナー)
★クールタイト HI フッソ	溶剤形	ふっ素樹脂	15kg セット (主剤：12kg、硬化剤：3kg)	0 ~ 40% (クールタイト HI シンナー)
★クールタイト HI フッソ中塗材	溶剤形	—	15kg セット (主剤：12kg、硬化剤：3kg)	30 ~ 70% (クールタイト HI シンナー)
☆水性アーキトップ U	水性	ポリウレタン樹脂	16.5kg セット (主剤：15kg、硬化剤：1.5kg)	0 ~ 10% (清水)
☆水性クールタイト HI	水性	ポリウレタン樹脂	16.5kg セット (主剤：15kg、硬化剤：1.5kg)	0 ~ 10% (清水)

※防滑仕上げの場合は、防滑用骨材としてエストップ# 20、またはエストップ# 40 をご使用ください。その際の混入比は、上塗材の主剤に対して1 ~ 2%となります。



アーキルーフ UA エコ



クールタイト UA エコ



アーキクロス



UA 自着シート



UA ジョイントテープ



UA 端末テープ

## 副資材・プライマー等

分類	製品名	荷姿	備考
副資材	アーキミックス	3kg ペール缶	立上り用目止め材
	★SK シーラントU	500ml フィルムパック×20本/箱	一成分形非汚染型のウレタン樹脂シーリング
	★SK シーラントU プライマー	120ml×10缶/箱 刷毛4本入り	SK シーラントU の専用プライマー
	SK クリーナースーパー	5L ポリ容器	植物性バイオ洗浄剤
	エストップ #20	12kg 袋、1kg 袋	防滑仕上げ用骨材 (細目)
	エストップ #40	12kg 袋、1kg 袋	防滑仕上げ用骨材 (粗目)
	アーキクロス	1.05m×100m 巻	補強布 (ガラスメッシュ)
	アーキクロス S	1.02m×50m 巻	補強布 (ポリエステルメッシュ)
	UA 自着シート	1.04m×15.7m 巻	通気緩衝シート
	UA ジョイントテープ	90mm×50m 巻	ジョイント処理用テープ
	UA 端末テープ	75mm×25m 巻	端末処理テープ
★UA 促進剤	1kg 缶	防水材用硬化促進剤	
プライマー	★アーキプライマー	16kg 缶	溶剤形ポリウレタン樹脂系プライマー (新築用)
	★アーキプライマーエコ	16kg 缶	環境対応型ポリウレタン樹脂系プライマー (新築・層間用)
	水性アーキプライマーエポ	12kg セット (主剤: 8kg、硬化剤: 4kg)	水性エポキシ樹脂系プライマー (新築用)
シンナー	★アーキエコシンナー	16L 缶	希釈用シンナー
	★アーキUシンナー	16L 缶	希釈用シンナー
	★クールタイト HI シンナー	16L 缶	希釈用シンナー
下地調整材	SK ウェットフィラー	16kg セット (主剤: 2kg、硬化剤: 4kg、粉体: 10kg)	エポキシセメントモルタル
	クールタイト HI フィラー	18kg セット (粉体: 13kg、混和液: 5kg)	セメント系フィラー
	ミラクファンド KC-1000	25kg セット (粉体: 20kg、混和液: 5kg)	セメント系フィラー
	ミラクファンド KC-2000	25kg セット (粉体: 20kg、混和液: 5kg)	セメント系フィラー

## 乾燥・硬化時間

## プライマー

製品名	可使時間			塗り重ね時間	工程間隔時間
	5～15℃	15～25℃	25～35℃	23℃	23℃
水性アーキプライマーエポ	5～6時間	4～5時間	2～3時間	4～48時間	4～48時間
アーキプライマー	—	—	—	3～6時間	3～6時間
アーキプライマーエコ	—	—	—	3～6時間	3～6時間

## ウレタン防水材

製品名	可使時間			塗り重ね時間	工程間隔時間
	5～15℃	15～25℃	25～35℃	23℃	23℃
アーキルーフUAエコ	30～40分	20～30分	10～20分	8～24時間	24時間～3日以内
クールタイト UA エコ	30～40分	20～30分	10～20分	8～24時間	24時間～3日以内
UA エコ立上り用	30～40分	20～30分	10～20分	8～24時間	24時間～3日以内

## 上塗材

製品名	可使時間			塗り重ね時間	工程間隔時間	最終養生
	5～15℃	15～25℃	25～35℃	23℃	23℃	23℃
アーキトップ #2000	6～7時間	5～6時間	3～4時間	4～24時間	—	24時間以上
クールタイト HI	6～7時間	5～6時間	3～4時間	4～24時間	—	24時間以上
クールタイト HI シリコン	6～7時間	5～6時間	3～4時間	4～24時間	—	24時間以上
クールタイト HI フッソ中塗材	6～7時間	5～6時間	3～4時間	—	4～24時間	—
クールタイト HI フッソ	6～7時間	5～6時間	3～4時間	—	—	24時間以上
水性アーキトップU	5～6時間	3～4時間	1～2時間	4～24時間	—	24時間以上
水性クールタイト HI	5～6時間	3～4時間	1～2時間	4～24時間	—	24時間以上

可使時間 …………… 材料を混合してから使用可能な時間です。

工程間隔時間 …………… 次工程の材料を施工可能な時間です。

塗り重ね時間 …………… 同じ材料の塗り重ねが可能な時間です。

最終養生 …………… 上塗材を施工後、歩行可能までの時間です。

※塗り重ね時間・工程間隔時間を超えた場合や降雨、降雪が発生した場合、密着性が低下する恐れがあるため、層間プライマーとして、アーキプライマーエコを塗装し、次工程に進んでください。  
 ※水性アーキトップU、水性クールタイトHIは厚塗りしすぎると割れ等の不具合を生じる可能性があります。入隅部や凹部等で溜まりがでないよう施工してください。

## 危険情報と安全対策

製品の取り扱いには、それぞれの安全データシート (SDS) に従ってください。

特に★のついている製品は溶剤形のため、下記の点に注意してください。(☆印は硬化剤のみ★に該当)

1. 引火性の液体のため、火気厳禁です。
2. 有機溶剤中毒の恐れがあるため換気に注意し、防毒マスクまたは送気マスクなどの安全対策を行ってください。
3. 施工においては、溶剤成分が室内に流入しないように十分注意してください。

※屋内作業等、使用環境によっては、特定化学物質障害予防規則、有機溶剤中毒予防規則等の規制を受ける場合があります。詳しくは別途、施工仕様書等をご確認ください。

## 施工後の注意

本製品には揮発性の化学物質が含まれております。塗装直後の引渡し等において、化学物質過敏症やアレルギー体質の方への安全対策に十分留意してください。



# 製品採用実績



北谷プロジェクト



F邸



ファミリール久米



JGM シュリアン周船寺



砂辺住宅



日商岩井福陵マンション



スカイコート大手町



# 施工上の注意事項

## ○ 施工環境

1. 施工前に必ず施工要領書を一読の上、材料の取り扱いなどをご確認ください。
2. 施工時の標準想定気温は 10 ～ 30℃です。強風時、または降雨、降雪の恐れがある場合、及び気温 5℃以下、（湿度 85%以上）での施工は原則的に避けてください。やむを得ず施工を行う場合には、必ず採暖などにより雰囲気温度・被塗面温度を 5℃以上にしてください。冬期においては、施工条件が特に厳しくなる場合があるため、事前に関係者と十分な打ち合わせを行ってください。
3. 低温または高湿度時には、乾燥が遅くなりますのでご注意ください。なお、湿度 85%以上での施工は、密着不良、膨れを生じることがありますので、絶対に行わないでください。
4. シーリング材の上へ施工する場合、シーリング材の種類、材齢により、塗膜が密着しないことや汚染することがあります。詳しくは、最寄りの各営業所へお問い合わせください。
5. 下地はよく乾燥させ、含水率 8%以下、pH 10 以下としてください。コンクリート、モルタル打設後は、夏季で約 2 週間以上、冬季で約 3 週間以上の養生を目安としてください。
6. 降雨、降雪直後は、全体の含水率が高くなり、膨れ・剥がれなどの異状が発生する恐れがありますので、必ず 2 日以上下地を乾燥させ、所定の含水率になってから施工を行ってください。

## ○ 材料の調合・施工

1. 材料調合の際は、周囲が汚れないようシート養生してください。
2. 材料は規定の範囲内の希釈を厳守し、電動ミキサーなどを用いて内容物が均一になるよう十分に攪拌してください。二液の場合、材料は、開缶後十分に攪拌してから、必ず計量器を利用し、製品缶に記載の比率を厳守して正確に混合してください。異なった比率で混合すると、硬化不良、塗膜異状の原因となります。また、材料の混合後は、可使時間内に使い切るようにしてください。可使時間を経過したものを使用すると、艶引け、硬化不良、付着不良などの原因となります。
3. 材料の調合量は、一回の仕事量に合わせて調合してください。
4. 塗り重ね時間は環境（温度、湿度、換気、風通しやすさ）や膜厚によって変わります。
5. 十分な塗膜性能を確保するため、所定の塗回数、塗付量、膜厚を確保してください。
6. 性能に支障をきたす可能性がありますので、当社指定以外の材料を混ぜないでください。
7. 夏季の気温上昇並びに材料が直射日光に当たることなどにより、材料の可使時間が短くなりますので、早めに材料を使い切ってください。
8. 通風の悪い場所での施工は、防毒マスクを着用すると同時に換気器具を設置し、換気を十分に行ってください。
9. 材料が目に入らないよう保護メガネを着用してください。また、万一目に入った場合は、清水で目を十分に洗浄し、医師の診断を受けてください。
10. 施工後は石鹸水でよく手を洗い、十分にうがいをしてください。
11. 溶剤形の材料を扱う際は、火気に十分に注意してください。

## ○ 材料保管

1. 住民の安全確保のため、資材置場には立ち入り禁止や火気厳禁などの表示を行ってください。
2. 材料の保管時は、直射日光の当たらない風通しの良い場所で保管してください。



## 使用上の注意

1. 防水層の上では、ハイヒールやスパイクシューズなど防水層を損傷する恐れのある履物での歩行はしないでください。
2. 防水層の上で火気の使用は厳禁です。煙草の吸い殻の投げ捨てや花火、溶接作業なども行わないでください。
3. 防水層の上にガソリンや溶剤、不凍液などをこぼさないようにしてください。こぼした際は直ちに除去してください。
4. 防水層の上で重い箱などの重量物を引っ張ったり、先の尖った物で傷つけたり、角のある鉄材など損傷を与える物を落とさないでください。
5. 防水層の上に椅子やテーブルなどを置く場合は、脚にゴムキャップをかぶせるなどして、防水層を保護してください。
6. 防水層の上でゴルフや自転車、ローラースケートなどの練習はやめてください。クラブや車輪、ローラーで防水層を傷つける恐れがあります。
7. 防水層の上で犬や猫、鶏などのペットは飼わないでください。
8. 防水層の洗浄には中性洗剤を使用してください。酸、塩素系の洗剤は防水層に損傷を与える恐れがあります。
9. クーリングタワーに使用する防藻剤、殺菌剤などは、種類によっては防水層に損傷を与えますので注意してください。



## 維持管理について

1. 定期的に防水面の清浄を行ってください。特に排水口（ドレン）廻りや隅の部分の泥、枯れ葉などをよく除去してください。
2. 定期的に防水層の点検を行ってください。
  - ・ 上塗材が薄くなっている箇所や、剥離している箇所はないか。
  - ・ 上塗材にひび割れや白化が生じていないか。
  - ・ 防水層の浮きや膨れがないか。
  - ・ 防水層にカラスなどの鳥獣類による損傷はないか。
3. 上塗材は、降雨や歩行などにより徐々に劣化します。定期的な塗り替えをお勧めします。(有償)



# エスケー化研株式会社

本社 大阪府茨木市中穂橋3-5-25 ☎072-621-7733  
東京支社 東京都新宿区高田馬場1-31-18 ☎03-3204-6601 国際事業本部 ☎072-621-7727

札幌支店 ☎011-784-4000 千葉支店 ☎043-304-0411 北陸支店 ☎076-266-1041 大阪支店 ☎072-621-7721 高松支店 ☎087-885-5411  
仙台支店 ☎022-259-2431 埼玉支店 ☎048-686-2391 名古屋支店 ☎052-561-7712 神戸支店 ☎078-671-0451 福岡支店 ☎092-629-3427  
東京支店 ☎03-3204-6601 横浜支店 ☎045-820-2400 京都支店 ☎075-646-3967 広島支店 ☎082-943-5043

旭川営業所 ☎0166-51-8094 水戸営業所 ☎029-251-6515 横浜営業所 ☎045-820-2400 大阪営業所 ☎072-621-7722 福岡営業所 ☎092-622-5561  
仙台営業所 ☎022-259-2431 宇都宮営業所 ☎028-657-5555 横浜住宅開発営業所 ☎045-820-5525 大阪住宅開発営業所 ☎072-621-7747 福岡住宅開発営業所 ☎092-622-5562  
仙台住宅開発営業所 ☎022-388-8518 東京営業所 ☎03-3204-6601 厚木営業所 ☎046-294-3666 南大阪営業所 ☎072-253-1910 大分営業所 ☎097-558-9081  
青森営業所 ☎017-762-3855 東京住宅開発営業所 ☎03-3204-6602 静岡営業所 ☎054-284-1877 神戸住宅開発営業所 ☎078-686-0520 長崎営業所 ☎095-887-0871  
盛岡営業所 ☎019-654-8380 豊前水産開発営業所 ☎03-3204-6603 浜松営業所 ☎053-462-7021 姫路営業所 ☎079-281-5311 熊本営業所 ☎096-344-5650  
郡山営業所 ☎024-962-7673 千葉営業所 ☎043-304-0411 三河営業所 ☎0564-28-1614 岡山営業所 ☎086-242-5520 鹿児島営業所 ☎089-284-5321  
秋田出張所 ☎018-883-0230 千葉住宅開発営業所 ☎043-304-0413 北陸営業所 ☎076-266-1041 広島営業所 ☎082-943-5043 宮崎出張所 ☎0985-61-7779  
新潟営業所 ☎025-285-6551 埼玉営業所 ☎048-686-2391 名古屋営業所 ☎052-561-7712 広島住宅開発営業所 ☎082-943-5053 沖縄営業所 ☎098-862-5041  
群馬営業所 ☎027-280-5350 埼玉住宅開発営業所 ☎048-686-1586 名古屋住宅開発営業所 ☎052-569-6783 山口営業所 ☎083-924-7575  
長野営業所 ☎026-239-6210 城東営業所 ☎03-3877-7770 岐阜営業所 ☎058-273-1981 松山営業所 ☎089-958-3760  
松本営業所 ☎0263-24-2677 三多摩営業所 ☎042-564-5806 三重営業所 ☎059-254-3777 北九州営業所 ☎093-621-8505

大利根工場・埼玉工場・神奈川工場・名古屋工場・大阪工場・兵庫工場・九州工場

このウェブサイトに記載の商品は、予告なしに仕様や取り扱いを変更することがあります。また、このウェブサイトに記載の内容について、無断転載・複製を禁じます。特記仕様がある場合は、これを最優先にしてください。詳しくは最寄りの各営業所へお問い合わせください。

URL <https://www.sk-kaken.co.jp>



特約販売店